

2026年2月期（2025年11月12日～2026年2月10日）決算短信

2026年3月19日
上場取引所 東証

ファンド名 MAXIS日本株高配当SMART50上場投信
 コード番号 461A
 連動対象指標 野村日本株高配当SMART50
 主要投資資産 株式
 売買単位 1口
 管理会社 三菱UFJアセットマネジメント株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 横川 直
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 岩瀬 直美 TEL (03)4223-3038

有価証券報告書提出予定日 2026年5月8日
 分配金支払開始予定日 2026年3月19日

I ファンドの運用状況

1. 2026年2月期の運用状況（2025年11月12日～2026年2月10日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	1,294	(100.1)	△0	(△0.1)	1,293	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前特定期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当特定期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
2026年2月期	—	534	12	522

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10口当たり基準価額 (③/当特定期間末発行済口数)×10
	百万円	百万円	百万円	円
2026年2月期	1,295	1	1,293	24,747

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	円
2026年2月期	2

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

当期
[2026年2月10日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	847,934
親投資信託受益証券	1,294,265,292
未収入金	58,302
未収利息	16
流動資産合計	1,295,171,544
資産合計	1,295,171,544
負債の部	
流動負債	
未払収益分配金	1,045,200
未払受託者報酬	42,239
未払委託者報酬	549,059
その他未払費用	254,714
流動負債合計	1,891,212
負債合計	1,891,212
純資産の部	
元本等	
元本	1,045,200,000
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金(△)	248,080,332
(分配準備積立金)	90,484
元本等合計	1,293,280,332
純資産合計	1,293,280,332
負債純資産合計	1,295,171,544

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	当期 自 2025年11月12日 至 2026年2月10日
営業収益	
受取利息	604
有価証券売買等損益	193,634,640
営業収益合計	193,635,244
営業費用	
受託者報酬	42,239
委託者報酬	549,059
その他費用	254,714
営業費用合計	846,012
営業利益又は営業損失(△)	192,789,232
経常利益又は経常損失(△)	192,789,232
当期純利益又は当期純損失(△)	192,789,232
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)	-
期首剰余金又は期首欠損金(△)	-
剰余金増加額又は欠損金減少額	57,178,700
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	57,178,700
剰余金減少額又は欠損金増加額	842,400
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	842,400
分配金	1,045,200
期末剰余金又は期末欠損金(△)	248,080,332

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

(重要な会計上の見積りに関する注記)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌特定期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

(貸借対照表に関する注記)

	当期 [2026年2月10日現在]
1. 期首元本額	—円
期中追加設定元本額	1,069,200,000円
期中一部解約元本額	24,000,000円
2. 受益権の総数	522,600口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

当期 自 2025年11月12日 至 2026年2月10日		
1. その他費用	上場費用および商標使用料等を含んでおります。	
2. 分配金の計算過程	第1期 2025年11月12日 2026年2月10日	
項目	A	604円
当期配当等収益額	B	1,981,092円
親ファンドの配当等収益額	C	—円
分配準備積立金額	D=A+B+C	1,981,696円
配当等収益合計額	E	846,012円
経費	F=D-E	1,135,684円
当ファンドの分配対象収益額	G	1,045,200円
収益分配金金額	H=F-G	90,484円
次期繰越金(分配準備積立金)	I	522,600口
当ファンドの期末残存口数	J=G/I×10	20円
10口当たり分配金額		

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	当期 自 2025年11月12日 至 2026年2月10日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」(昭和26年法律第198号)第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、

運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。

また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果はリスク管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	当期
	[2026年2月10日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	当期
	[2026年2月10日現在]
最終計算期間の損益に含まれた評価差額(円)	
親投資信託受益証券	193,247,160
合計	193,247,160

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	当期
	[2026年2月10日現在]
1口当たり純資産額	2,474.7円
(10口当たり純資産額)	(24,747円)